

## 第2回「寒河江市学校施設整備計画」保護者向け説明会 質疑応答

会場：市民文化会館

日時：令和4年11月7日（月）19時30分から21時10分

参加人数：18名

出席者：教育長

学校教育課長（兼）学校再編整備室長

学校再編整備室 室長補佐（兼）係長

学校再編整備室 学校再編整備係主任

（学校教育課長）

事務局からお願いがございます。説明会の意図として、多くの方からご意見をいただきたいのでご発言をお願いします。小・中学校の検討案について、いろんな面からご意見をお願いしたいと思います。質問からお受けしたいと思います。質問のある方よろしくをお願いします。

（発言者A）

小学校の2段階統合のところの子どもたちのストレスが大きくなるというコメントがありましたが、具体的に精神ストレスとか、物理的ストレスとか、どういうことを想定してストレスという言葉を使ったのでしょうか。

（教育長）

統合によって学ぶ場所も変わってきます。登下校についても、徒歩で通っていたわけですが、それがスクールバスの登下校になる子どもさんもいます。様々な面で環境が変わるということがあげられます。統合によって新しい友達ができるのは、楽しみにしている子どもさんもいると思いますが、最初だけかもしれませんが、新しい友達や集団に馴染むまで時間が必要かなとか、そうしたことをすべて含めてストレスに感じることもあるのではないかとということでストレスという言葉を使っています。

（学校教育課長）

ありがとうございました。その他ございますか。

（発言者B）

こちらの計画、学校有識者、最初の計画を立てるときに学識者の参加があったと思うのですが、教育関係者の意見ばかりで都市計画の学識者の観点からの話は聞きながら進めているのでしょうか。

（教育長）

この計画を立てる段階では学校関係者や地域や保護者の代表者ということで計画を立てております。答申を受けまして、市役所の関係各課とも相談したわけ

ですが、個別の施設の計画とのかかわりも十分に検討が必要だと思われます。そういう意味で、今回の案にも出しておりますが、今後の寒河江市の公共施設のあり方、地域等の配置のバランスなども検討しながら考えていかなければならないと思っているところです。

(発言者B)

追加で、地価の変動、道路交通網、高齢化など心配されることあると思うので検討のほどよろしくお願いします。

(教育長)

ありがとうございます。

(発言者C)

何点が聞きたいことがあるのですが、中学校を1校に統合した場合のメリットとして、地元の高校とのつながりを深めとあるのですが、1校じゃないと実現が難しいことなのか、もう1点、1校にした場合は部活動のメリットが大きいのかなと思っていたのですが、後半では、部活動はこれから任意になって自己負担が増える傾向があるということだったので、他の県内の自治体をみても1つの学校でチームを形成することが難しく、数校でチームを組んでいる学校が多いと思うのですが、それについてはどのようにお考えでしょうか。

(教育長)

メリットとデメリットについては、こうでなければ絶対できないということではございません。例えば、中学校1校の方が高校との連携をよりやりやすいということではあります。2校だとできないというわけではありません。

部活動については、国全体で部活動が大きく変わろうとしています。来年度から3年間で、休日の部活動は地域に移行していく方向です。寒河江市でもどうしていけばスムーズに子どもたちが活動できるかということで、検討する会議を立ち上げています。今後の部活動は、例えば、平日は学校で活動して、土曜日地域クラブ等で活動するという子もいると思いますし、平日は学校で活動するけれども土曜日とかは活動しないという子どもさんもいるのかなと思います。また、平日は部活動には入らないで好きなことをやりたいけれども、運動もしたいので土曜日だけはクラブに入るという子どもさんもでてくると思います。そうしたことを考えた時に、ある程度の規模がある学校であれば、平日は学校でやろうとする子どもの数も多く、いろんな種目の部活動の設定も可能になると思います。それが少なくなってくると、平日は活動しなくてもいいかなという子が増えると、そもそも設置できる部活動に限られてくる懸念があります。そのあたりは、子どもたちがどう選択していくかは予想しづらい部分もあります。例えば、西村山の他の町などでもどうしていくか、任意加入にしたときに、学校の部活動が成り立たなくなるのではないかと心配をしているところが多い状況です。

(学校教育課長)

その他ご質問ございますか。

(発言者D)

質問の前に前回の説明会に参加して、それと比較して今回の説明がわかりやすく、私たちの意見に対して取り入れて、よくしていこうとする姿勢が感じられて、今回の資料に関してもわかりやすくよかったと思います。ありがとうございます。それを踏まえて質問なのですが、小学校の統合及び中学校の統合の案として、もともとあったA案に対して、市民の人からの意見を踏まえてBとCの別の案を作成されたということだと思うのですが、A・B・Cの案でお金がどれくらいかかるのか試算されているのか。試算されているのであれば、どれが一番かかるのか。何十億かかると思うのですが、そのお金の部分で計算しているのかなということがあります。学校教育でこうした方がいいとかいろんなご意見あると思うのですが、私が考えているのは案A・B・Cを協議したとしても、予算がないなら無理なんじゃないのかということなんですね。1校にした方が、お金がかからないだろうとぼんやりとはわかるのですが、案を検討しても財政的に無理だということであれば、検討するのは時間の無駄なのかなという感じがするんです。A案しか無理ですということであれば納得しますし、B案もC案も財政的に考えて可能なら検討してもいいと思うのですが、そもそもお金がないので無理ですということであれば、BもCも、あるお金の中でやりくりするしかないと思うので、ぜひお聞かせください。

(教育長)

ありがとうございます。コストの面については当然検討しております。建設費の問題があるわけですが、ここで例えば1校統合案はいくらと具体的な数字は申し上げられませんが、参考の資料として、先ほど説明資料にもあったように、高畠中学校が統合したときは700人弱くらいだったのですが、それで50億円くらいの金額がかかっているということです。ただし、これは国の補助とかもありますので、実際はそれよりも少なく済むわけですが、3校を統合するとこれよりも大きい金額がかかるわけです。ただ、今の国の補助金の制度から言うと、新しい統合中学校を建設する場合は補助金の額が1/2となっております。そして、その後20年とかかけて残りの部分、市でも一度にだすことはできないので、市の方で20年くらいに分けて出していくということになると思いますが、その分についても国からの交付金等も一部見込まれるということもあります。ただ、今の制度から言うと、統合をしないでの新築だと補助が難しい状況であるということです。もう少し詳しく調べないといけない部分はありますが、大規模にこれから20年くらい今の校舎の寿命を延ばすために改修をする場合には1/3くらいの国の補助があるということです。そうしたことも考えると統合を伴わない新校舎の建築には、かなりお金がかかるということだと思います。

(発言者D)

AもBもCも予算的にもいける、財政的にやれる可能性があるから案として

作っているということですか。

(教育長)

財政的なことから言えばA案とB案、B案の場合は複合的な施設作るという場合にも補助金等あります。ですので、案Cの2校案と比べると金額的にはかなり違ってくるかなということがございます。ただ、ご意見の中で経費ではないだろうと、子どもたちの教育ということを中心に考えなければならないという・・・。

(発言者D)

それはわかるのですが、子どもたちの教育を第一に考えるとは言え、お金がなかったらできないわけですよ。物理的に物を作るわけだから。それが組めないなら、そもそもそんな案できないですよ。それは却下する、理解してもらえないことだと思うのですが、お金がなくてもやれるものですかということなんです。

(教育長)

案Cで陵東・陵西の新校舎と考えたときに統合を伴うので補助金とかはある程度確保できるわけです。陵南中の場合、新しい校舎の建設をどうするかは、財政の方ともいろいろ検討することになると思います。

(発言者D)

よくわからないのですが、どれもやれるということですか。

(教育長)

検討案として中学校2校にすべきだという声も多かったもので、そういったこともご意見を伺っているわけで、おっしゃられたように財政的な面を第1に考えるべきだということも1つのご意見だと思いますし、そうじゃないだろうという方もいらっしゃるわけで、その辺、何とかできるのかどうかも検討していかなければならないかなと思います。

(発言者D)

これから調べるということですね。

(教育長)

そうですね。どういう形を出していけるのかとか。ただ、これまでのご意見の中では、20年かけて支払うとしてもその分を払っていくのが、結果的に今の子どもたちが大人になって払っていくということなので、子どもたちのことも考えると、財政的なこともしっかり考えなくちゃいけないというご意見もいただいているところでありますので、そうした点もしっかりと考えていかなければならないと思います。

(発言者D)

わかりました。

(学校教育課長)

ありがとうございました。他にございますか。

(発言者E)

今の質問にあわせてなのですが、お金のことは切り離せないと思うんですね。A・B・Cに対して少なくとも仮定で教えていただかないと、検討とか意見聞きたいと言っても、そこも考えあわせて検討、意見を、自分の考えをまとめようと思うので、例えば、補助金の話も1回目の説明会、2回目の説明会それぞれ1回ずつ出たのですが、初めて具体的にでてきたなと思ってありがたいなと思ったんです。補助金の仕組みも私たちはわからないですし、仮定であっても試算を、仮定ですよと出していただければ、わかりやすいと思います。例えば、スクールバスとかも建設予定地が決まらないからわからないということですが、これだけ大きい学校であれば、そんなに候補にできる場所は多くないですね。この辺か、この辺か、この辺かというのがあると思うのですが、それであれば、ここだったらどれくらいの人がスクールバスで通わなくてはならない、それに対してどれくらいの維持費がかかるということで、ずっとかかっていくコストなので一緒に提示してもらえれば考えやすいのかなということと、時間をかけて検討くださると言っていただけるのはありがたくて、ありがたいということに尽きるのですが、その結果、どのようなプロセスで決定されるのか、途中経過が公表されるのか、いつまでにという目途があるのか、その辺をお伺いしたいです。

(教育長)

ランニングコストといいますか、例えばスクールバスについて言えば、陵西学区の方で小学校も含めてですが、スクールバスを2台運行しています。2台で1年間で700万ちょっとの金額がかかっています。例えば、中学校で2校案としての陵東中に統合するとスクールバス2台では足りませんので、概算ではありますが5台くらい必要なのかなと考えています。これが1校となれば、その台数よりも多くなっていくわけです。ただ、あまりスクールバスが多く必要な場所となりますと、通学にも支障がでる可能性もありますので、用地選定のときの1つの決定要因ということもあるのかなと思います。また、コストについて具体的な数字でいいますと、例えば光熱費について、この前の説明会でも話をしましたが、3つの中学校で1年間にだいたい2400万円くらいかかっています。これが1校になると1/3、1/2とか単純なものではないと思いますが、学校の作りとか、電気もLEDにしてとか、暖房をどうするかとか考えなければならないと思いますが、そういった光熱費等についても、2校と1校にした場合では、当然、違ってきます。その他、警備保障、消防施設関係など、いろいろな管理を業者に委託しているわけです。そうした委託料だけでも3校で800万円以上かかっています。これも校数によって変わってきます。その他にも、いろいろな経費等

がありますので、数千万単位でランニングコストも変わってくると思われます。

（発言者E）

ありがとうございます。この例は推測の範囲の情報かもしれませんが、1校にしたときに人数が多いから体育館2つ作るらしいよとか聞こえたりして、2校作っても一緒だよねとか、ある程度の計画がざっくりでも1校ならこんな施設になりますよとかわからないと、なんともわからないなと思っているところもあるのですが、途中経過とかわかれば教えていただければと思うのと、どのようなプロセスで決定されていくのかをお願いします。

（教育長）

現在、このようにご意見をいただいておりますので、先ほどの方からもありましたように財政的なものも当然考えなくちゃならないと思っております。ただ、それだけで決めるものではないと思っておりますが、説明会の中で地域の活性化と関わって、例えば、学校が統合でなくなったとしても他の公共施設であるとか、小学校の案A・B・Cで言えば、C案というのは陵西学区に小学校を1校残す案がありますが、当初の3月に決めた計画では、陵西学区に小学校がなくなってしまうというものでした。それに対して、それでは地域としてなかなか認めがたいというご意見もありました。学校だけの問題ではなくて、公共施設の配置等も一緒に考えながらと思っております。ですから教育委員会で検討して、市役所の他の課とも協議してとなっていくしますので、いついつまでとは申し上げられないのですが、現在、検討案をいくつか出しています、その他にもお考えがあれば出していただければと思います。今後、これまでの意見を含め総合的に考えて、こういう案でと示して、また、パブリックコメントになるのかどうかですが、説明をして、ご意見をいただいて、議会への説明や教育委員会の議決といった進め方で決まっていくと思っております。ただ、こういったプロセスが適切かも含めて、現在検討中です。

（発言者E）

わかりました。ありがとうございます。説明会聞いていて、どういう理由で決まったと教えていただくと、そうだよねと思うことがたくさんあって、考えたプロセスも説明の際には詳しく教えていただけるとありがたいです。ありがとうございます。

（学校教育課長）

その他ご質問ございますか。

（発言者F）

質問というか都市計画という話があったのですが、子育てにやさしいまちづくりということで市外から転入してまいりました。この計画を見て6キロ以上はとても冬に子どもを歩かせたくないなと思って、1校案でも2校案でも4キロくらいでスクールバスに乗せてもらえればなと思いました。それから、多

くの職員がいて、多くの職員で子どもたちを見ることができるといってお話あったのですが、1人あたりで割ると、3校統合校の方が職員1人あたりの生徒の人数が多くなっています。16人を1人で見る。その下は、13、14人。この人数はあてにならないかなと思いました。それから、案Aで新校舎、3校統合したときはじめの生徒の人数が多くて、だんだん減ってくるという話ですが、大きい校舎を建てて、人数が減ってくると掃除が行き届かなくなるということがあるので、違う建物と一緒にしたづくりがいいかなと思いました。でも、気持ち的には2校案を進めてもらえればと思っています。

(教育長)

ありがとうございます。中学校6キロについては、文科省の1つの設定ですので、私たちが今考えているのは、6キロまでは徒歩とかではなく、夏と冬でスクールバスの利用も変わるということも検討しています。夏は少し遠くても自転車で通えるけれども冬は通えないのでスクールバスを利用するということがあるともいます。現在、陵西中学校でも夏は自転車だけでも、冬はスクールバスという地域もございますので、そのあたりは子どもたちが1時間以上も歩いて通わなくていいようにスクールバスを考えていきたいと思っています。

教員数については、生徒数を教員数で割れば大きい規模の学校は1人あたりにすれば、人数は多くなります。ただ、クラスの人数は規模が大きくても小さくても基本的には同じで、今ですと山形県は33人以下になっています。中学校だと学年団として学級担任とそれにプラスの教員が学年の担当としているわけです。そうした教員数が増えますので、いろんな目で子どもたちを見ることができ、担任が気づかないことも別な教員が見ると気づくということもあるわけです。そういったことも含めて総合的に考えると、大規模な学校だといろんな見方ができ、対応もできるということがあります。また、ある程度の規模でないと、教科の人数、教員の年齢構成、男女比などのバランスがとりにくいということもあります。

(学校教育課長)

よろしいでしょうか。それでは質問のほかにも、検討案を示させていただきましたが、こちらの方にもご意見があればお願いします。

(発言者C)

醍醐小学校が学区をフリーにされている状態(特認校)だと思うのですが、それがあって、学区の小学校に入るか醍醐小に入るか2つの選択があることが心のゆとりではないのですが、学年で2~3クラスある人数がほどよい学校と複式学級になっていますが人数が少ない学校の2つが選べる点が利点だと思っていたのですが、統合の話がでたときに醍醐小がなくなってしまうのがショックで、子どもたちの未来がわからないところはあるのですが、自分の子どもが地区の学校に行きたくない、何かしらの理由でもっと違うことがしたいとなったときに選択できるということが大事なかなと思っていたので、そのところも考慮していただきたいなと思っています。

この学校統合の話を初期からいろいろ聞いていて、教育委員会の方も保護者の話を聞いてくれようとしてくれているのが伝わってくるので、これをきっかけに教育のあり方とか勉強するきっかけになっているので、今後も双方向の意見交換をしていただけるとうれしいなと思います。もう1点なのですが、廃校になった場合、その管理とか利活用についてのお話もありましたが、そうならなかった場合、廃校になってしまう学校がどうになってしまうのか心配なのですが、その辺はいかがお考えですか。

(教育長)

そうならなかった場合というのは、例えばどういう状況の場合でしょうか。

(発言者C)

例えば、西根小でいいますと、当初、老朽化と災害が浸水想定区域だからということで納得していたのですが、課が違うので場所違いかもしれませんが、西根保育所が建て替えしている現実がありまして、場所として便利な場所ではあるのですが、まちづくり全体として行き違いが生じているのかなと、大丈夫かなという不安が芽生えたので、西根保育所は活用するとなった場合、西根小学校が廃校になるわけですが、管理といえますか、広いグラウンドと校舎が残ってしまうのでそのあたりも教えていただきたいです。

(教育長)

そうした問題は出てくると思います。使われない校舎を、どういったことに活用していくかということを考えていかなければならないと思います。学校としてだと、例えば、西根小は44年くらいになりますし、水回りとかなかなか厳しい状況になってきています。校舎としては耐震工事もしていますので、今すぐ危険だとかそうしたことはないわけです。例えば、公民館的なものとか、全部が全部という大規模な改修となると大変ですので、一部貸し出しをすとか、活用をどうしていくかというのは、さきほどの都市計画と関わってくる部分もあるかもしれませんが、公共施設の配置の問題として、教育委員会だけでなく、考えていかなければならないことだと思います。西根小の地域は、浸水想定区域になっているわけで、学校を新しく建てるということであれば、教育委員会としては避難所ということも想定すれば、浸水想定区域外にすべきということで、当初の計画では陵東中の跡地に新しい小学校の建設という計画にしたところですよ。

(学校教育課長)

その他ご意見等ございますか。

(発言者G)

質問になってしまうのですが、先ほど中学校の部活動について、いろんな部活動ができて幅も広がるという話だったのですが、統合した際に、運動部であればさまざまな競技によって出場できる人数は限られています。統合する前の学校では運動部でレギュラーをしていた子が、統合した際にレギュラーを外れる子



がでてくると思うのですが、統合している学校の場合、Aチーム、Bチームが出場できるとか、個人種目も数名多く出場できるようになるとか、そうした配慮等は今後あるのでしょうか。

(教育長)

大会の参加については、今後どうしていくべきかについて地区や県の中体連で検討しているところです。例えば、来年度から全国大会については学校単位ではなく、クラブチームの参加も認める方向になっています。その予選会である、地区大会や県大会をどうするかは中体連で検討しているところです。今後、学校からの出場枠をどうするか、クラブやスポーツ少年団の参加をどのように認めていくかなど、検討していかなければならないことだと思います。先ほど言いましたように私は960人の中学校で剣道部の顧問をしておりました。剣道の団体戦は5人しか出られません、一つの学年で15、6人の部員がいたこともあります。そうした状況でも、レギュラーだけ練習してということではありませんし、切磋琢磨して、結果的にスターティングメンバーにならなくても、それぞれの生徒さんはチームとして頑張ってきた達成感を持てるのかなと思います。

(学校教育課長)

よろしいですか。

(発言者G)

初めからその規模の中学校だったのかと思うのですが、中学校2年生で統合するにあたり、同じようなことには子どもたちの気持ちが向かない部分があるのかなと思うのですが、市の財政等さまざま話がでていますが、一番は当事者である子どもたちが主役でなくてはいけないと思うので、うまく学校の方でしていただけるのかとは思うのですが、中体連のからみもさまざまあるかと思いますが、ご配慮いただければと思います。

(教育長)

ありがとうございます。十分、考えていかなければならないことだと思います。

(学校教育課長)

ありがとうございました。その他ご意見

(発言者H)

何度か説明会に参加させていただいて、参加のたびに意見が反映された資料や説明になっているところがいいなあと、わかりやすくなっているなあと感じたところです。先ほどの方に付け加えてということですが、例えば、子どもたちの意見をということでは、大人が考えていくというのは主流ではあるのですが、現在の中学校、小学校の子どもたちから意見を吸うのは難しいと思いますが、子どもたちは学校が統合していくことに関して、何年後かには当事者ではなくなるが、実際、中学校にいる子どもたちがどう考えているかといった意見な

どは聞いているのかなと思ひまして、お聞きしたいと思ひます。

(教育長)

今回の計画については、3月に決めて、その後、説明を行いながらご理解いただけるようにとスタートしました。そういった中で子どもたちにも、今後、こういう風になっていく計画だよと説明していこうと思ひたわけですが、5月の説明会当初から、計画を知らなかった、初めて聞いたというご意見も多数あって、いつだれが決めたのかというご意見もたくさんありました。そこで、今おっしゃっていただきましけれども、ご意見を聞いて、説明も丁寧にしながらということとやっておりますので、まだ、決まったわけではないわけですので、中学校も小学校もどうしていくのかということについて、子どもたちには、ある程度まとまった段階で、学校を通してきちんと説明しなければならないと思ひています。子どもたちの気持ちを直接聞いているわけでありませんが、説明会等で保護者の方からグループ討議などもしてもらいましたので、そうした中では、今よりもたくさん友達ができるのが楽しみだといったお話はお伺ひしているところです。

(学校教育課長)

ありがとうございます。その他ございますか。

(発言者1)

2点あります。中学校もそうですし、小学校も統廃合どうなるかわかりませんが、統合したときに不登校という問題が多くあると聞いています。どういった理由で不登校が増えるのかはわかりませんが、そういった情報は、教育委員会の方が情報をもっていると思ひますので、そのあたりフォローアップしていただき、1人でも不登校がでないようによろしくお願ひします。

もう1点、ロードマップ全体の話ですが、今年度は用地選定となっておりますが、今年ももう少しで終わりになりますので、現実的にどうなっていくのか、ロードマップ検討案ということで、教育委員会でもみなさんの意見をよく聞いていただけるということで、ロードマップの案自体が後にずれていくのかなというイメージもあるのですが、そのあたりどうなのでしょう。

(教育長)

おっしゃられたとおり当初の案では、今年度中に用地選定をしてということでしたが、説明会をスタートしたときから中学校は2校の方がいいのではないかと、または1校でいいのではないかと、といった2つのご意見ありました。そこで現在は、用地選定についてはストップしておりますので、1校案と2校案それぞれご意見いただいて、どちらがいいというよりも、なかなか決めかねるという方も多いのかなと思ひましたが、現実的には今年度中の用地選定はできないかなと思ひています。用地選定をするということは、そこで、ここに1校とか決めるということですので、先ほど説明にもありましたが、今年度中の用地選定は難しいかなと思ひます。これから今の計画で行けば、中学校の統合で言えば案B・Cも令和10年度目途にということとありますが、そこから1、2年ずれることも

あるかもしれないと思います。

不登校については、大きな問題だと思っています。この前の新聞でご覧になった方もいると思いますが、全国的に不登校が増えました。コロナの影響で様々な活動が制限されたりとか、子どもたちが楽しみしている運動会、学習発表会、修学旅行がいつもの通り行えなかったりといったことのストレスが影響しているのではないとも言われています。特に小学校の低学年が増えているのは、マスクをしているので相手の表情や感情がわからないなど、今、いじめも不登校も増えている状況です。その原因はいろいろあると思うのですが、子どもたちのストレス、なんとなく前向きになれないというのは、そういうことが多いのかなと思います。統合したときになるべくストレスを感じないように、事前の交流、楽しいレクリエーション、生徒会で集まってどんな生徒会目標にしようかと話し合いを持つとか、子どもたちが前向きになれるような取り組みを意図的に統合前に組み入れて、不登校の児童生徒がなるべく増えないようにという対策をしっかりしていきたいと思っています。

(学校教育課長)

ありがとうございました。

(発言者J)

先ほどから子どもたちのストレスということで、私も小学校在学時に小学校の分割を経験しております。子どもの目から見ても、学校の中が落ち着かないなどいろんな問題もあったことを経験して、私自身もいやなことがあったということもありました。やはり、学校統合というのは子どもたちにとっても大きなストレスを感じることであると思いますので、先ほど学校を建設する際の補助金のお話などもありましたが、制度として、例えば一気に全学年が統合することではなく、新しく集まってくる小学校入学時の学年から段階的に統合していくといったことが制度的に可能かどうかわかりませんが、ご検討をいただきたいなと感じております。個人的には2校の方がいいかなと思っているのですが、2校になった場合は学区の立地上、アンバランスになってくるのは明らかかなようにも思いますので、将来的には、学区再編は選択肢としてはでてくるのかなと感じている次第であります。

(教育長)

ありがとうございます。前半部のストレスについてはそう思いますので、子どもたちのストレス軽減につとめていきたいと思っています。そうしたことから、小学校と中学校で2回統合を経験する子どもさんがでないようにということでの案で考えて、検討しているところでございます。2校案について、今おっしゃられたことも他の会場でもでました。陵南と陵東・陵西学区の生徒の人数の差が大きくなっていくということで、学区の編成替えをすべきではないかというご意見もありました。ただ、この答申では、学区の編成替えをしないで統合していくということでしたので、こういった中学校の統合案を作っているところです。もし、将来の学区編成もする方がいいのか、それともしない方がいいのか、それぞれ

れご意見あれば出していただけるとありがたいと思います。

(発言者J)

それで最初に伺った全学年が一斉に統合ではない選択肢というのは、ないということなのですかね。

(教育長)

それは、統合した時には、小学校1年生しかいない学校になるということですよ。新しい入学からとなれば、今の制度ではできないかと思います。

(発言者J)

そうですね。失礼しました。

(学校教育課長)

ありがとうございました。その他ございますか。

(発言者K)

地区民の声を聞いていただいて、いろんな案をもんでいただいたことありがとうございますのですが、小学校、中学校の計画を決定するのがゴールと感じているが、決定してからも統廃合や新校舎建設に話が進んでいくにつれていろんな問題がでてくると思うので、決定したから終わりではなく、問題があればこういった会を設けていただいて、地区民の声を聞く機会を作っていただければと思います。要望でした。以上です。

(教育長)

その通りだと思います。今は、統廃合についてご意見伺っているところですので、方向性が決まりましたら統合の準備委員会を保護者の方や地域の方に入っただいて、どういう学校のあり方がいいかなどのご意見を伺いながら進めていきたいと思っています。ありがとうございます。

(学校教育課長)

ありがとうございました。

(発言者C)

最適な学習環境という文言があったのですが、一保護者の要望として聞いていただければと思うのですが、最適な学習環境とは何だろうと考えた時に、保護者が義務教育に求めていることと現場との乖離が大きいのではないかなと思うんですね。不登校の問題も絡んでくると思うのですが、山形県ではどんな形で統合しても1クラス33人は変わらない山形県の推奨している人数だと思うのですが、日本では少ないのかもしれないのですが、保護者としてはそれでも多いのではないかという疑問があります。教員をやっている人の話を聞くと、33人でも見きれないという話を聞きます。先生方の働き方改革をしながら、大規模での

義務教育課程を新たなスタディケースとして、チャンスでもあると思うんですね。国の推奨していることがベースとしてあっていいと思うのですが、新しい授業が入ったとしても子どもたちの学習時間は限られていて、新たなものをつぎ込んでも、基礎的な大事なことが抜け落ちてしまうんじゃないかと保護者としては心配な点であるので、先ほどの話につながるのですが、ハード面はゴールではなく、ソフト面の教員の方々とのコミュニケーションが保護者と子どもたちの満足度というか、学校っていいよねということにつながって、地域のつながりにつながると思うので、そのあたりを考慮していただけるといいなと思います。以上です。

（教育長）

ありがとうございます。おっしゃられたことはそうだと思います。学校で学べるべき内容は標準的なものはあるわけですが、学校ごとに特色を出すことは可能でありますので、そうしたことも十分考えていきたいと思います。

（学校教育課長）

よろしいでしょうか。その他ございますか。以上で質疑応答を終わりたいと思います。